

西善寺真宗関係史料

西善寺真宗関係史料

さいぜんじしんしゅうかんけいしりょう

分野／部門

有形文化財／歴史資料

所有者

宗教法人 西善寺(さいぜんじ)

所在地

大阪市北区芝田 2-2-28

紹介



西善寺真宗関係史料

西善寺は、北区芝田に寺地を構える本願寺派の真宗寺院である。当地の住人了善が本願寺派 12 世門主の准如に帰依し、13 世門主良如の代の寛永 11 年(1634)に寺号を得て、南森町に寺院を起立したのが端緒という。その後、数度の火災を経て、大正 2 年(1913)に現在の寺地に移転した。西善寺に伝来する最も年代がさかのぼる史料は、紙本墨書六字名号である。寺では蓮如筆と伝える。速筆で虎斑がみられ、近年の名号本尊の研究をふまえれば、蓮如筆とされる形式の名号である。ほかに延享 2 年(1745)下付の 4 幅の親鸞絵伝なども伝来しており、市域に伝来する貴重な真宗関係史料のひとつである。